

令和6年12月3日

研修だより 46号



思考力の向上

小笠原康晃

今年度の校内研修の目標として、「思考力の向上」を上げています。

思考力の向上とはどのようなものなのでしょうか。

なぜ、思考力の向上が必要なのでしょうか。

今の子どもたちが生きる社会は私たちが経験してきた社会とは全く異なる社会です。

そこでは、ただ一つの正解を求めるのではなく、自分が納得できる正解を求めることが必要になります。

例えば、地球温暖化の問題です。

さまざまな解決方法があり、現在でも実践されています。

子どもたちは地球温暖化の仕組みや原因について調べます。

その中には自分ができるようなこともあります。

最終的には、自分ができる温暖化対策を実施します。

「自分で納得をした答え」を実施することになります。

ここには、クラス全員が同じ取り組みをするということはありません。

それぞれが納得できる正解を出すからです。

例えば、物語文の読解です。

「ごんは幸せだったか。」という課題に対する答えを考えるとします。

文章を根拠にして、想像を膨らませることで、さまざまな解釈が生まれます。

しかし、そこには2つと同じ意見はありません。

一人一人の解釈が異なっても良いのです。

だからこそ、面白い追究になると考えます。

自分が納得できる正解を出すからです。

教えるべきところはしっかりと教える。

その上で、考えさせる。

そうすることで、「思考力の向上」につながります。